



# 聖書の学び方

2026年5月2日 第5課



そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も  
／むなしくは、わたしのもとに戻らない。  
それはわたしの望むことを成し遂げ／  
わたしが 与えた使命を必ず果たす。  
(イザヤ 55:11 新共同訳)



このように、わが口から出る言葉も、  
むなしくわたしに帰らない。  
わたしの喜ぶところのことをなし、  
わたしが命じ送った事を果す。

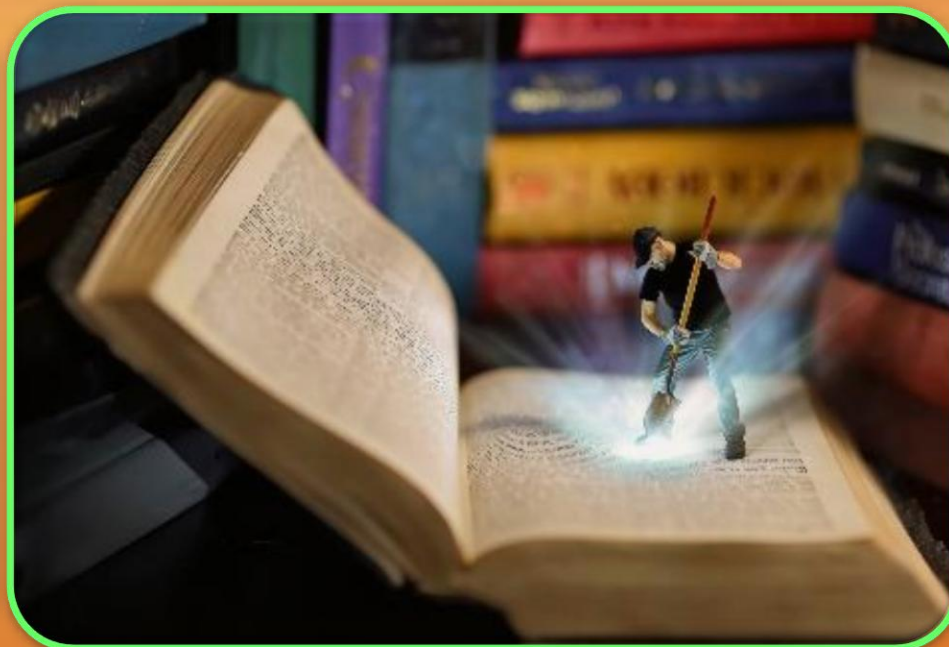
(イザヤ 55:11 口語訳)



「預言は・・・人々が聖霊に導かれて神からの言葉を語ったもの」（2ペト 1:21）で、そのメッセージを聖書に記録した。

そこには、生命、希望、励まし、慰めなどを与えてくれる宝石が見つかる。中には一目でわかるものもあれば、もっと注意深く探さなければならないものもある。

神が聖書の中に用意してくださったこれらの貴重な教えを、私たちはどのように見つけ出すことができるのでしょうか？また、聖書を学ぶことでどのような恩恵が得られるのでしょうか？



### 聖書の読み方:

時間

場所

聖書の深い研究

### 聖書を学ぶことの メリット:

二重の祝福

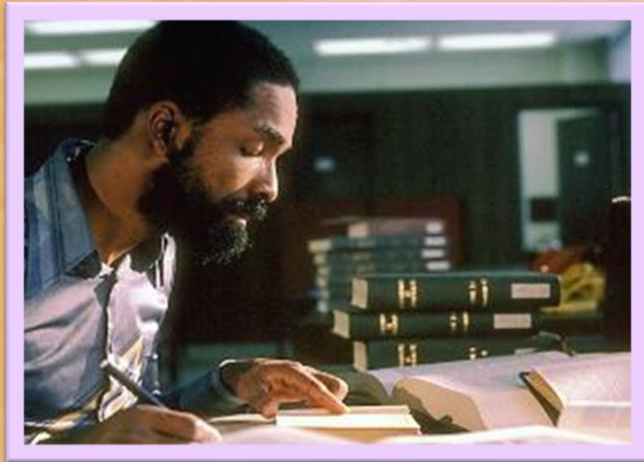
なんと甘いこと  
でしょう

# 聖書の 読み方



# 時間

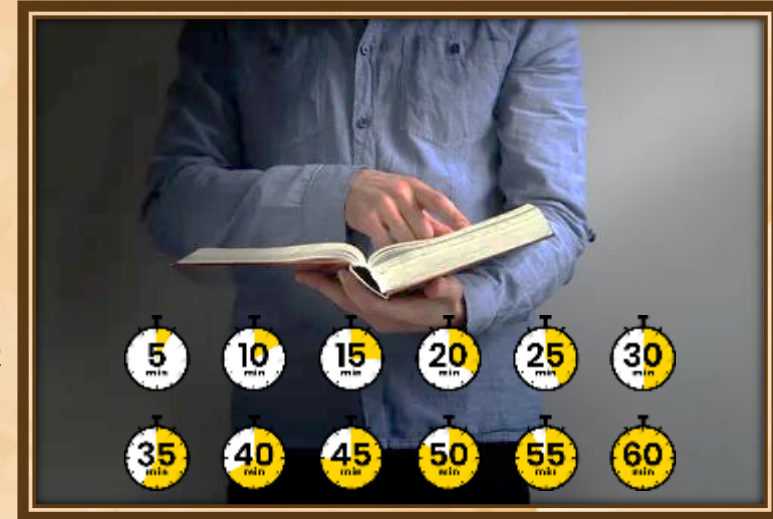
「わたしを尋ね求めるならば見いだし、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしに出会うであろう。」  
(エレミヤ 29:13、14)



聖書を読むのに最適な時間はいつですか？

我々は、時間的要因と品質的要因という2つの要素を考慮して、自らの対応を分析する必要がある。

スケジュールに聖書研究の時間を1時間確保する方が、たった5分だけ割くよりも、明らかに大きな実りがあるでしょう。



しかし、勉強に費やす時間は、表面的な読み方に留まってはなりません。ここで、私たちの動機が問われるのです。なぜ私は聖書を読むのでしょうか。単に知識を求めているだけなのでしょうか、それとも、神についてもっと知りたいという深い願いがあるのでしょうか。

聖書研究が、神と共に過ごす時（エレ29：13）となり、神を喜ぶ時（詩37：4）となり、そのページの中に神が私たちに送ってくださる特別なメッセージを探し求める時、私たちは聖書研究を最大限に活かすことができるでしょう。



さらに、ヨハネ **15:1~8** を読んでください。

**15:1** 「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。**15:2** わたしにつながって  
いながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、  
いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。**15:3** わたしの話した言葉によって、  
あなたがたは既に清くなっている。**15:4** わたしにつながっていなさい。わたしもあなたが  
たにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていなければ、自分では実を結ぶことが  
できないように、あなたがたも、わたしにつながっていなければ、実を結ぶことができない。  
**15:5** わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、  
わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなた  
がたは何もできないからである。**15:6** わたしにつながっていない人がいれば、枝のように  
外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。  
**15:7** あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもある  
ならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。**15:8** あなたがたが豊か  
に実を結び、わたしの弟子となるなら、それによって、わたしの父は栄光をお受けになる。

イエスは、御自身にとどまることについて、  
私たちに何を語っておられるのでしょうか。

また、なぜそれが私たちの信仰にとって

非常に重要なのでしょうか。

# 場所

「朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。」  
(マルコ 1:35)

イエスは神との特別な交わりのひとときを望むとき、早起きして静かな場所を探した（マコ1:35）。これは祈りにも聖書研究にも当てはまる。

騒がしい場所や人通りの多い場所では、勉強に集中するのは難しい。快適で静かで、人目につかない場所の方が、勉強しやすい。

一日の最初や最後の時間帯は、静けさが深まるため、私たちの思いを神に向けやすくなる時です。

適切な時間と場所が決まったら、これを習慣にしていきましょう。何か特別な事情でその時間を逃してしまうこともあるかもしれませんが、毎日の聖書勉強を長期間おろそかにしないようにしましょう。



先週、あなたは祈りと聖書を読むことに、  
どれくらい時間を費やしましたか。  
その答えは、自分の優先順位についてどんな  
見直しが必要か、あなたに教えてくれますか。



# 聖書の深い研究(1)

「わたしの口から出るわたしの言葉も／むなしくは、わたしのもとに戻らない。」(イザヤ 55:11a)

聖書の詳細な研究は、4つのセクションから構成されています

## 祈り

学びにおいて、  
聖霊を導き手として  
迎え入れましょう

彼はあなたの心と  
精神に触れ、あなたが  
読んだことを理解でき  
るようにしてくれ  
るでしょう

## 読んで理解する [提案された手法]

聖書から一節または一箇所を  
選んでください

書き留めておくと、心に深く  
刻み込むのに役立ちます

重要な考え方に下線を引く

それらの重要なアイデアの源と  
なっている考えを書き留める

## 祈り

学んだことを  
実践できるように、  
神に助けを  
求めてください。

## 共有する

学んだことを  
誰と共有  
できるか  
考えてみて  
ください。



「神の民が恵みにおいて成長しているときは  
いつでも、彼らは神の言葉をより明確に  
理解し続けるだろう。彼らは、その聖なる真理の  
中に新たな光と美しさを見いだすのである。  
これは、あらゆる時代の教会の歴史において  
真実であり、終わりの日まで続く」

(『著者と編集者への勧告』 **38**、**39**ページ、英文)。

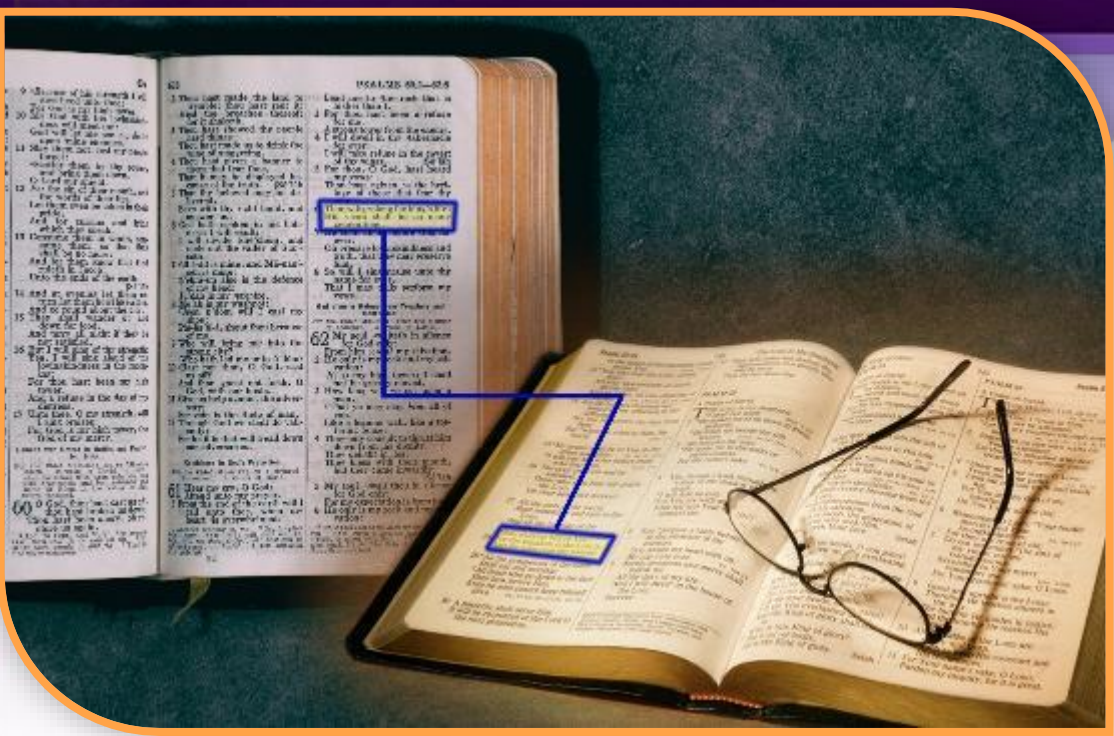
上記引用文に込められたメッセージは、  
あなたにとってどのような点で  
真実だと感じましたか。

詩編 (詩篇) **119:105**も参照してください。

あなたの御言葉は、わたしの道の光/  
わたしの歩みを照らす灯。

# 聖書の深い研究(2)

「わたしの口から出るわたしの言葉も／むなしくは、わたしのもとに戻らない。」(イザヤ 55:11a)



## その他の聖書研究の手法

聖句と聖句を比較する  
(イザ 28:10)

章ごとに、あるいは本全体を勉強する

コンコルダンスを使ってトピックや単語を調べる

聖書註解書や辞書を参照してください

エレン・ホワイトの『大争闘』シリーズの一節を併せて読む



聖書を学ぶことの  
メリット



# 二重の祝福

「主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え／疲れた人を励ますように／言葉を呼び覚ましてくださる。  
朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし／弟子として聞き従うようにしてくださる。」 (イザヤ 50:4)

あなたは土曜日の礼拝で説教をするように頼まれました。聖霊があなたに選ばせたテーマについて、祈りながらじっくりと時間をかけて研究しました。そして土曜日、あなたは力強く説教をしました。この説教から最も恩恵を受けるのは誰でしょうか？

説教であれ個人的なレベルであれ、私たちが他の人と分かち合う聖書研究には、二重のメリットがあります。

第一に、私たちは学んだことから恩恵を受ける。  
第二に、私たちがこの知識を共有する人々も恩恵を受け、その知識をさらに深く探求するよう促される。

どちらの場合も、神との関係は強固になり、深まります。これこそが神の言葉の力であり、「むなしくわたしのもとに帰ることはない」 (イザ55:11) のです。



今週の暗唱聖句を読み、  
その意味を考えてみてください。  
そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も  
／むなしくは、わたしのもとに戻らない。  
それはわたしの望むことを成し遂げ／  
わたしが与えた使命を必ず果たす。  
(イザヤ **55:11** 新共同訳)

今、あなたは何を研究していますか。  
誰とそれを分かち合うことができますか。

# なんと甘いことでしょう！

あなたの仰せを味わえば／わたしの口に蜜よりも甘いことでしょう。(詩編 119:103)

私たちは神の言葉を食さなければならない(エレ15:16)！

聖書は蜂蜜よりも甘いが、本当に食べてはならない(詩119:103)。聖書を読むことは魂の糧であり、私たちの精神と人格を変容させる真の滋養である。

しかも、この食事は無料なのです(イザ55:1)！

私たちはただ、神に近づき、聖書を通して語られる神の言葉に耳を傾けるだけで良いのです(イザヤ書55章3節)。聖書を深く読み込む時間が長ければ長いほど、私たちはより多くの糧を得て、より多くの祝福を受けることができますでしょう。



「人間の知的な進歩がいかに進んだとしても、より大きな啓示を得るために聖書を徹底的かつ絶えず探求する必要がないなどは、決して考えてはならない。私たちは民として、一人ひとりが預言の学び手となるよう召されているのである。」 Ellen G. White, Counsels to Writers and Editors, p. 41 (非公式訳)



「主を尋ね求めよ、見いだしうるときに」  
〔口語訳「あなたがたは主にお会いすることのできるうちに、主を尋ねよ」〕

（イザヤ**55:6**）とありますが、  
具体的にどのような方法があるでしょうか。

「御言葉をただ読むだけでは、天が意図する結果は得られません。御言葉を研究し、心の中で大切に抱きしめなければなりません。神を知ることが、精神的な努力なしには得られません。私たちは、神の御言葉を理解できるように、聖霊の助けを神に求めながら、熱心に聖書を研究すべきです。一節を取り上げ、神がその一節に私たちのために込められた考えを確かめることに、心を集中させるべきです。[...]神の言葉は命のパンである。この言葉を味わい、消化し、あらゆる行動や人格のあらゆる側面の一部とする者は、神の力によって強められる。それは魂に不滅の活力を与え、経験を高め、永遠に続く喜びをもたらすのである。」

EGホワイト (Lift Him Up, April 7) (非公式薬)